令和３年度

『子どもの笑顔と活力にあふれた地域と共に歩む学校』

～　よさをいかし　つなぐ教育　～

【学校評価アンケート集計結果まとめ】

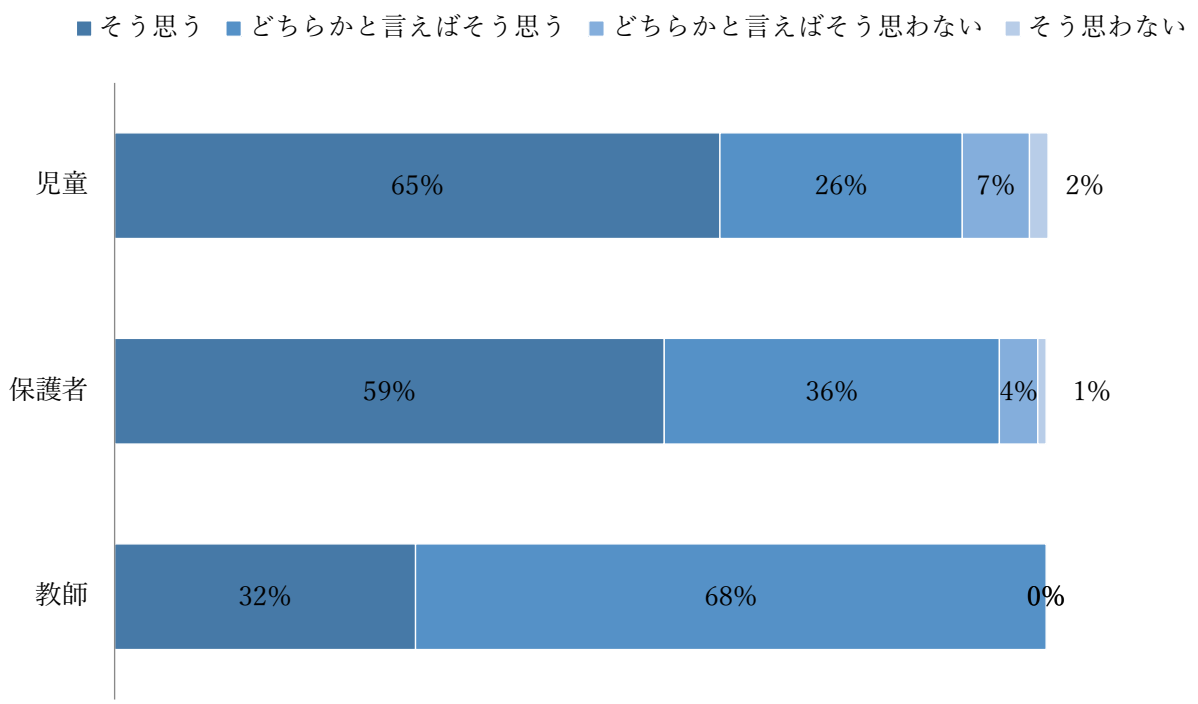


書きぞめ練習の様子【１２月】

春日部市立内牧小学校

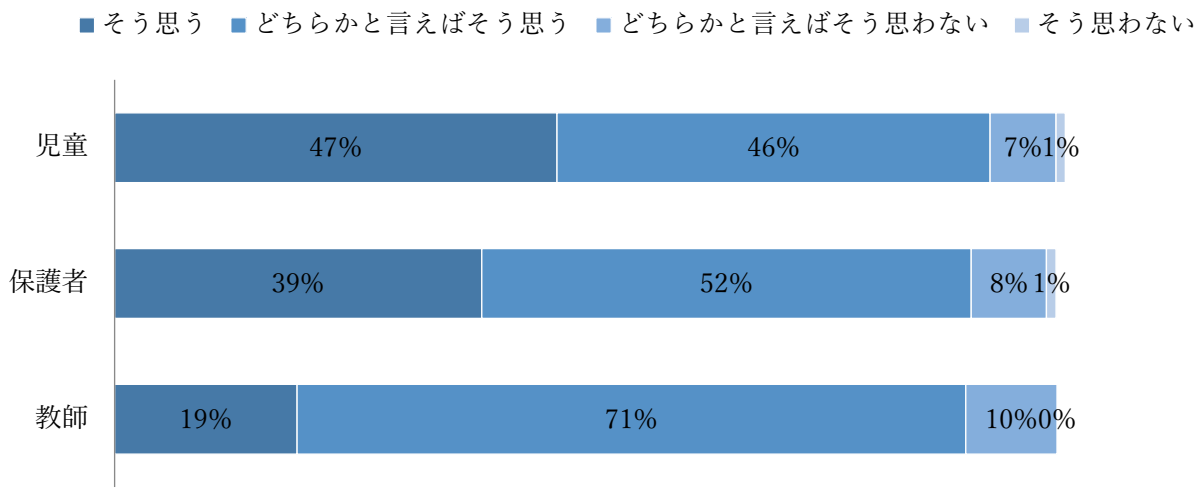
学校評価　I

１．学校は楽しいか



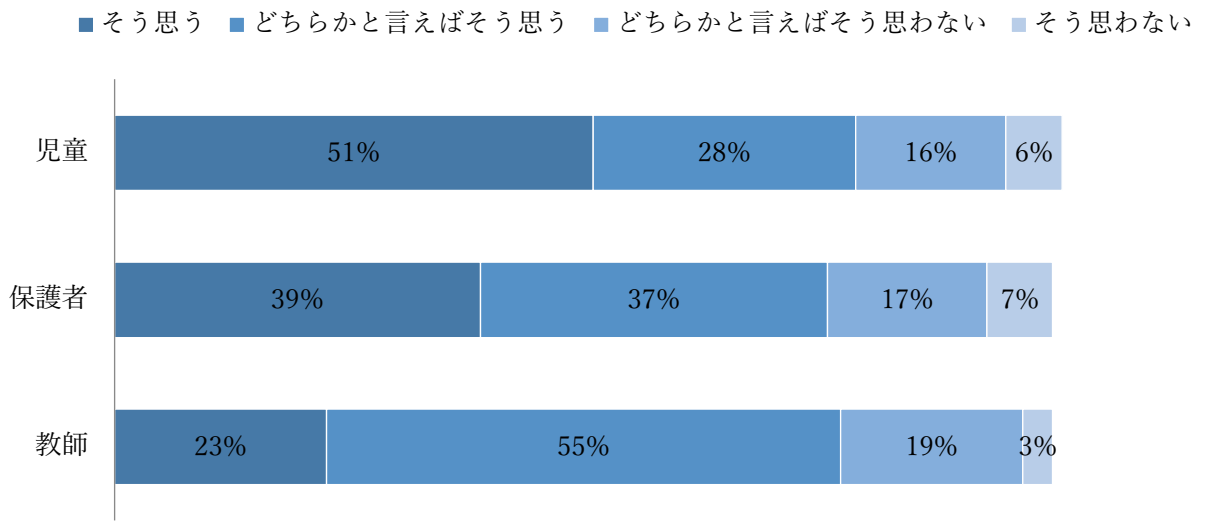
肯定的な回答が９割を超えています。今後も、児童が学ぶ楽しさを味わえる学校を目指して、教育活動の充実を図ります。

２．よく話を聞いて学習しているか



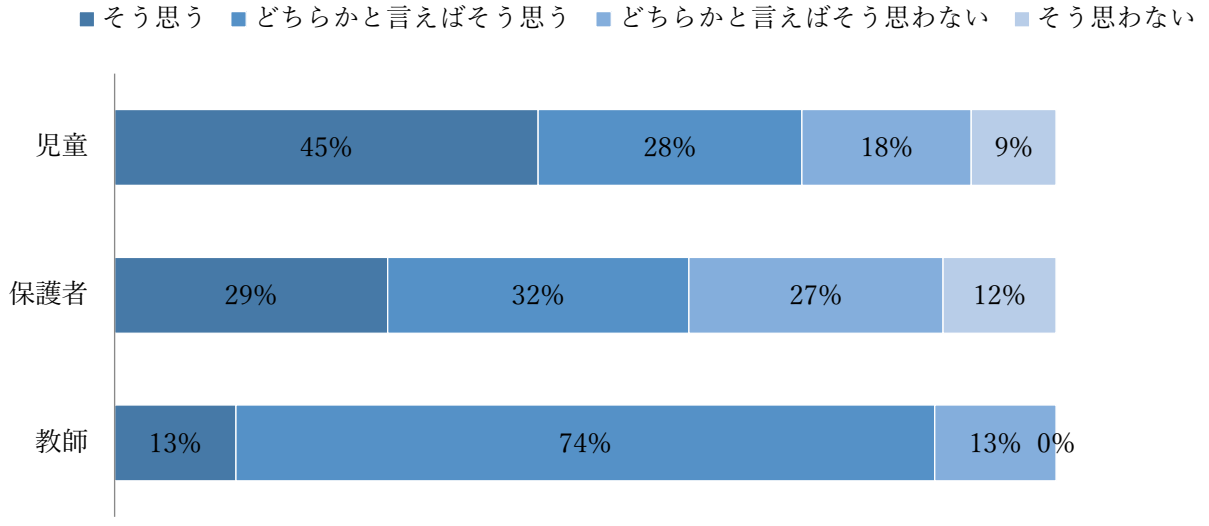
肯定的な回答が多いです。「話を聞く」という学習の規律を大切にすることで児童の学力は向上します。今後も話が聞ける児童を育ててまいります。

３．家庭学習をしているか



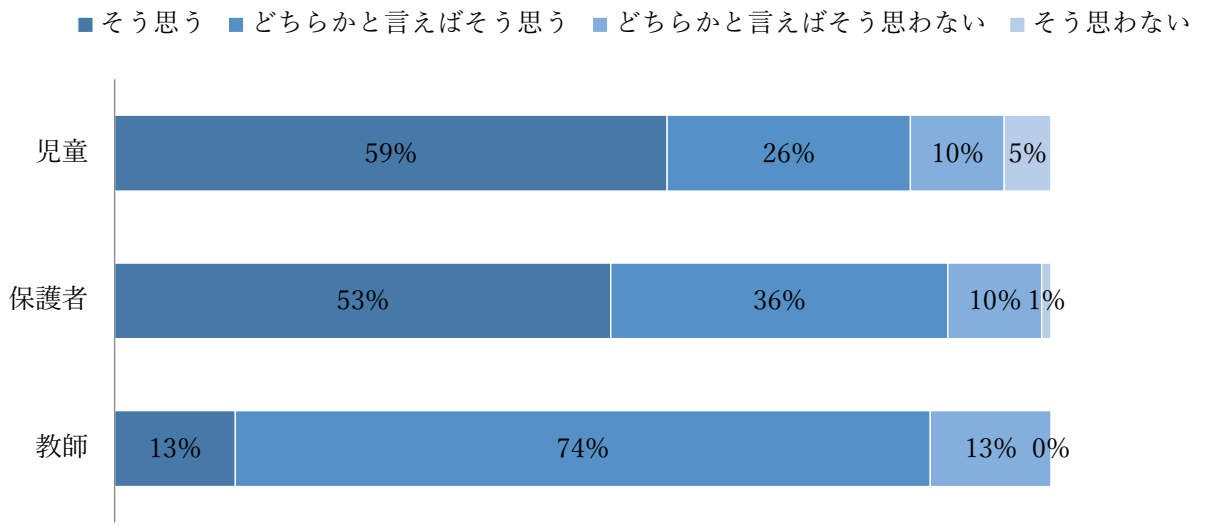
肯定的な回答が多いです。家庭での協力に感謝しています。学習習慣は学校以外でも定着させることが必要です。今後もよろしくお願いいたします。

４．本を読んでいるか



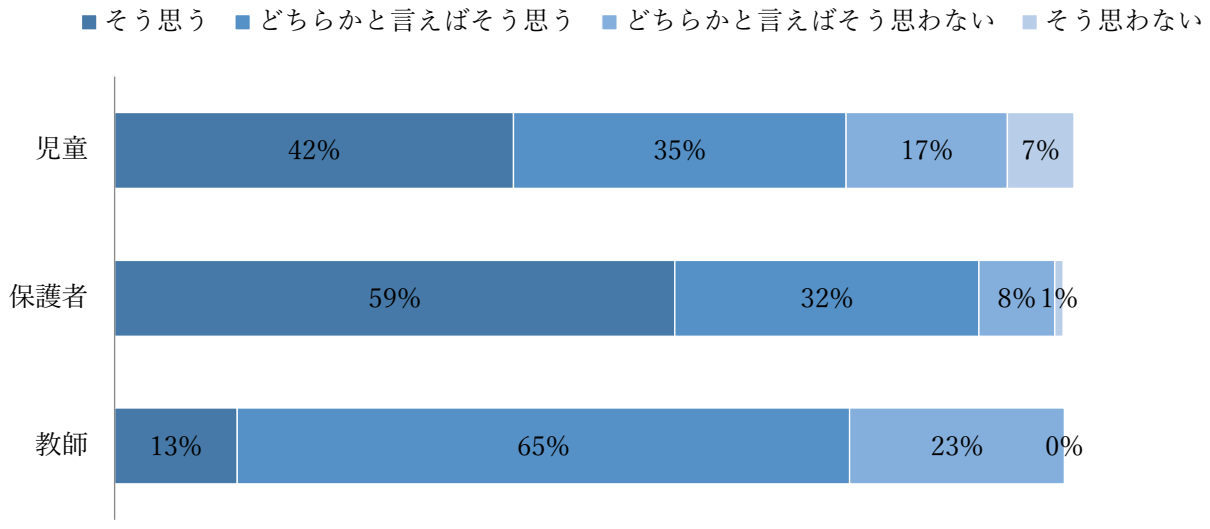
読書習慣は学力の向上のみならず、生涯学習の基礎基本であります。今後も読書の楽しさを味わわせる指導の工夫をしてまいります。

5．学校のことをお話しているか



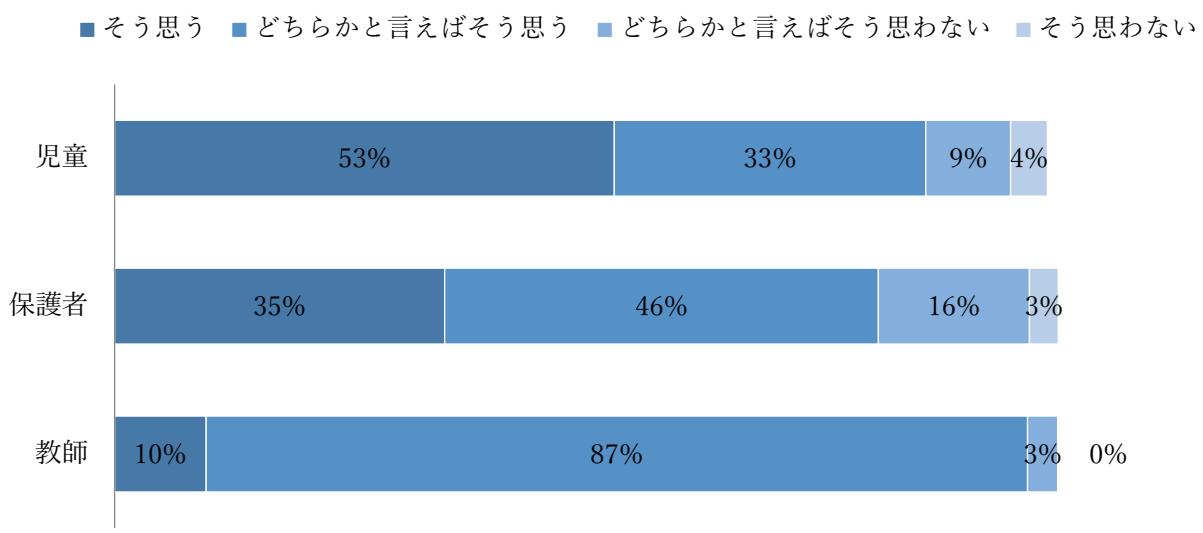
全体的に肯定的な回答が多かったです。今後も、親子の会話を通して、学校の教育活動について理解を深めていただきたいと願います。

6．明るいあいさつができているか



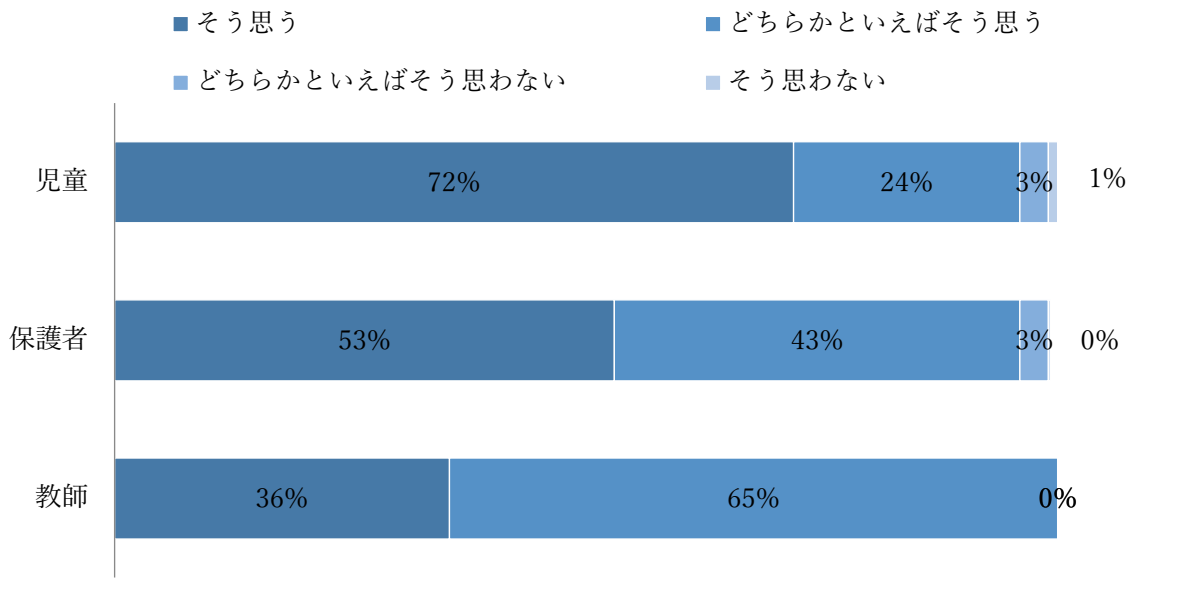
明るいあいさつの習慣化が少しずつ定着しております。今後も積極的にあいさつ運動を続けてまいります。

7．場に応じた言葉使いができているか



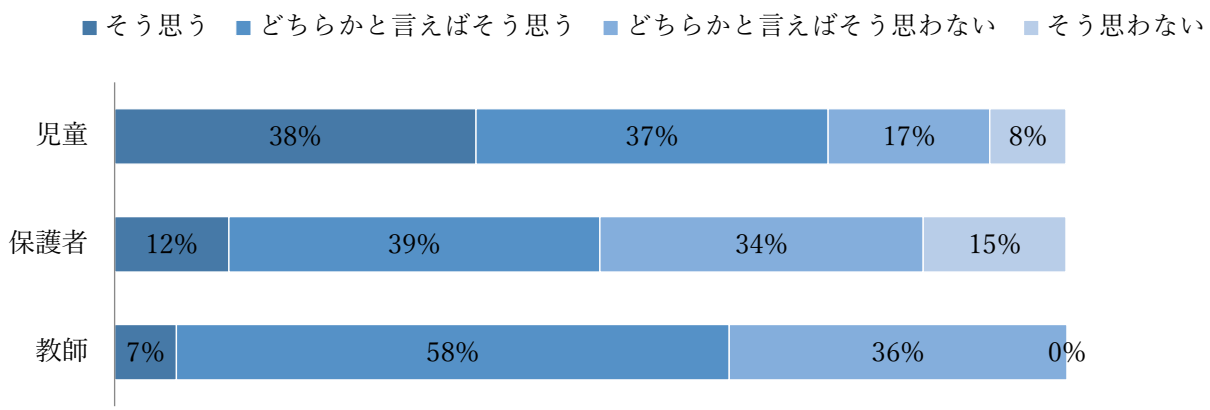
肯定的な回答は多いものの、三者の感じ方に差が見られました。今後も、時と場に応じた言葉づかいについて指導していきます。

8．友達や他の人と仲良くしているか



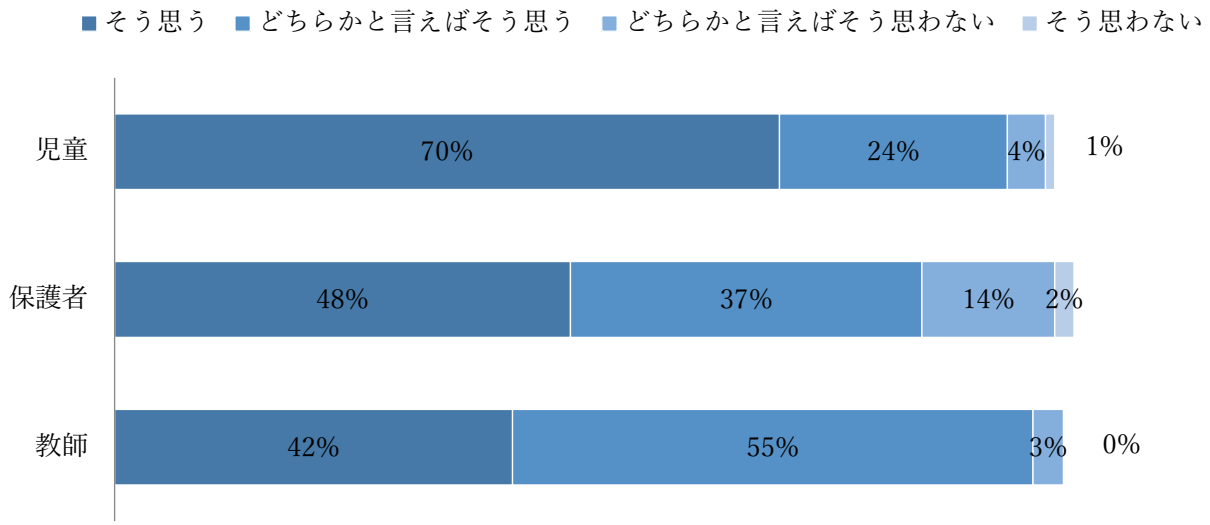
昨年度に引き続き、肯定的な回答が多かったです。今後も、「心の教育」を充実させ、友達を大切にする児童を育成します。

９．整理整頓が身についているか



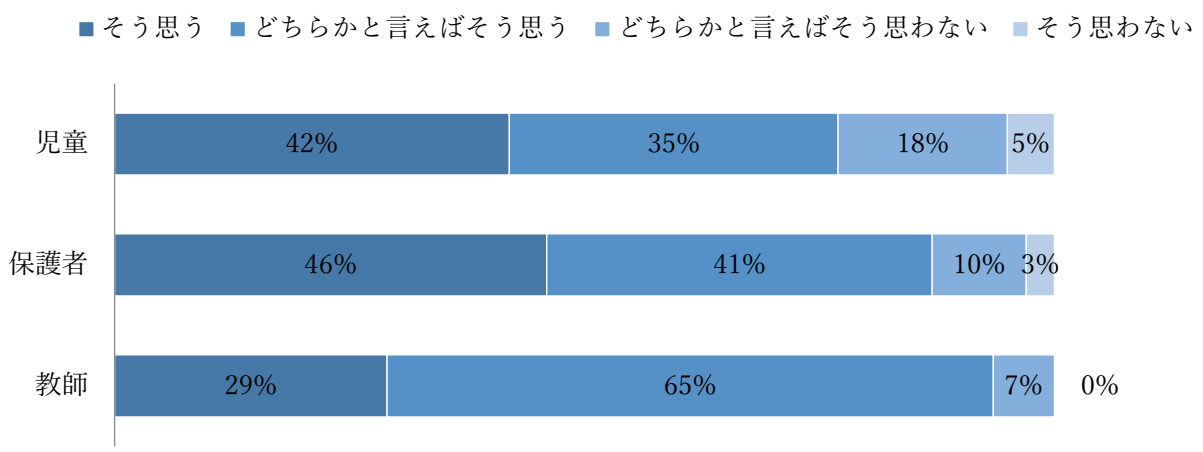
児童と保護者・教師の感じ方にずれが見られました。今後も家庭と連携して整理整頓に係る指導の充実と見届けを細やかに行っていきます。

１０．体力づくりに取り組んでいるか



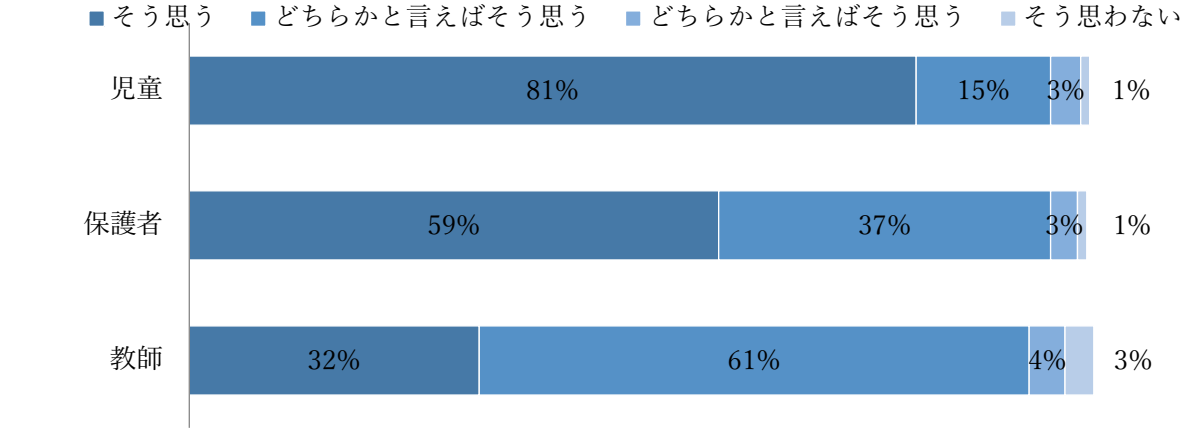
コロナ禍においても、肯定的な回答が多かったです。概ね良好であると捉えられます。今後も体力づくりに努めていきます。

１１．早寝・早起き・朝ご飯を大切にしているか



概ね肯定的な回答が多かったです。今後も文部科学省が推奨しているこの取組の充実を図っていきます。

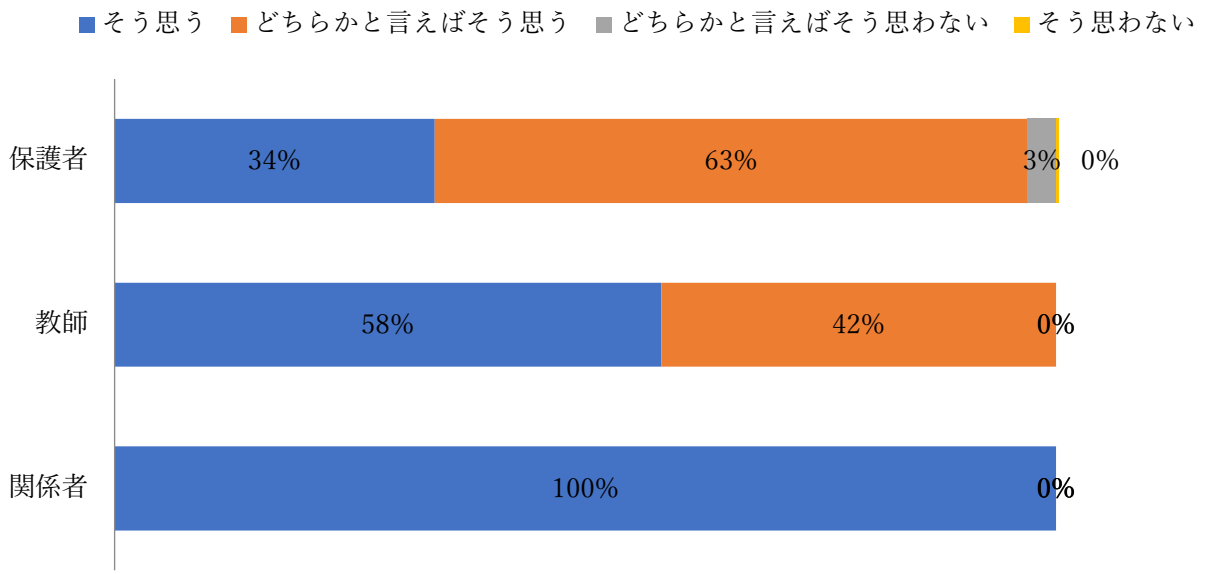
１２．事件や事故にあわないよう生活しているか



概ね肯定的な回答が多かったです。今後も、家庭、地域と連携するとともに、児童自身の安全意識の向上を図っていきます。

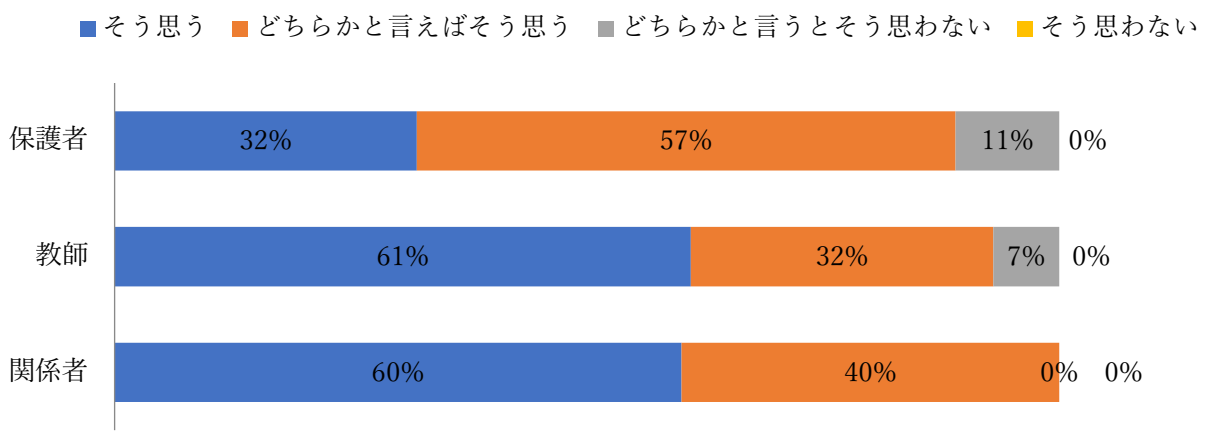
学校評価Ⅱ

１．家庭・地域との連携



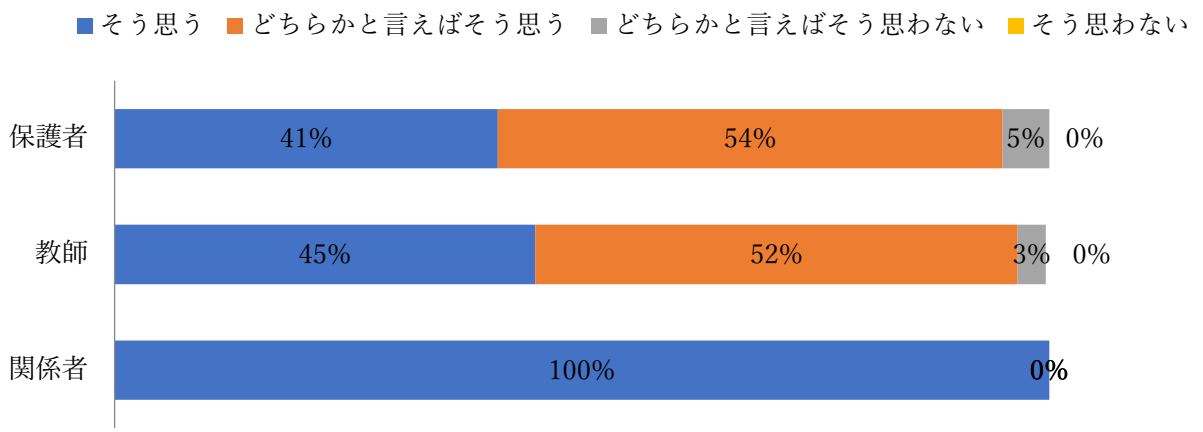
肯定的な回答が多かったです。今後も、家庭や地域と連携を密にした取組を継続して行っていきます。

２．生活指導の対応



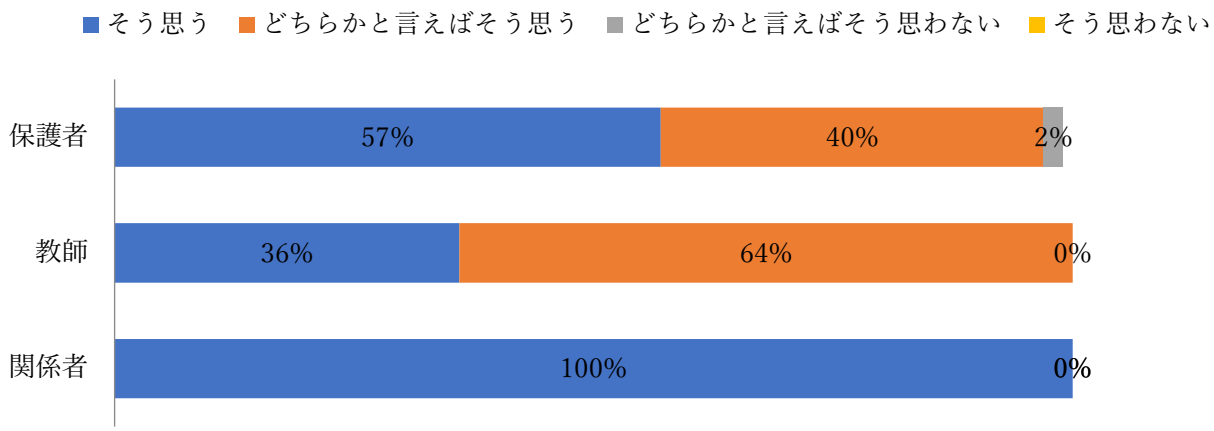
肯定的な回答が多かったです。今後も学校と保護者が共通理解・共通行動がとれるよう学級懇談会、面談や相談の場を充実させていきます。

３．学習指導法の工夫



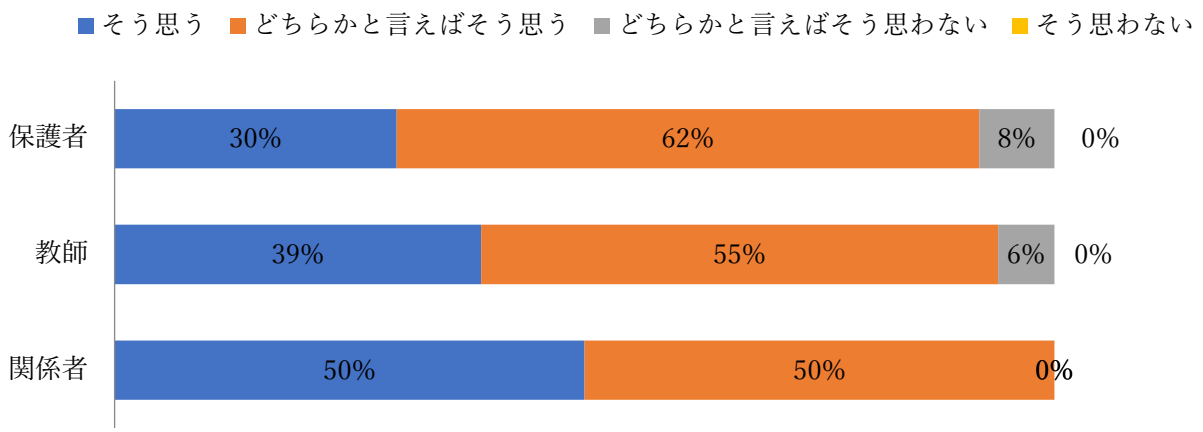
肯定的な回答が多かったです。今後も、教職員一人一人が研修に努め、確かな学力の定着を目指していきます。

４．体力づくり・健康づくり



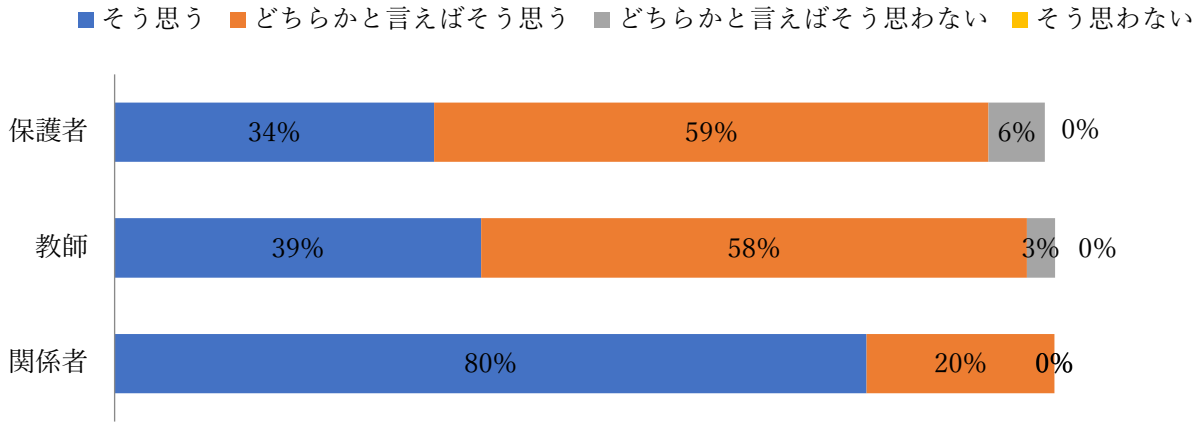
肯定的な意見が、90%を超えています。今後も、児童の体力の向上と健康づくりに係る指導を充実させていきます。

５．豊かな心の育成



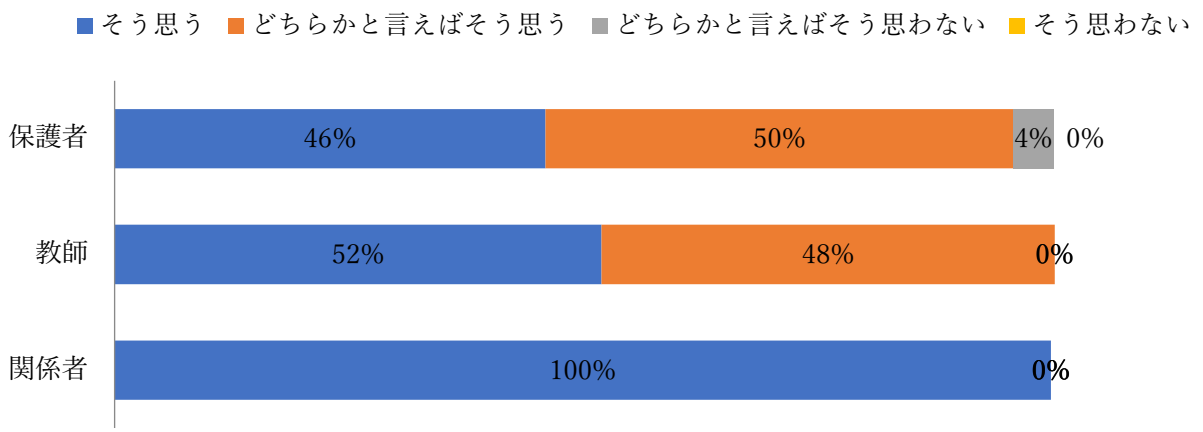
昨年度に引き続き、肯定的な回答が多かったです。心の教育については喫緊の課題であり、今後も全教育課程を通して道徳心の向上に努めていきます。

６．子供への公平な評価の実施



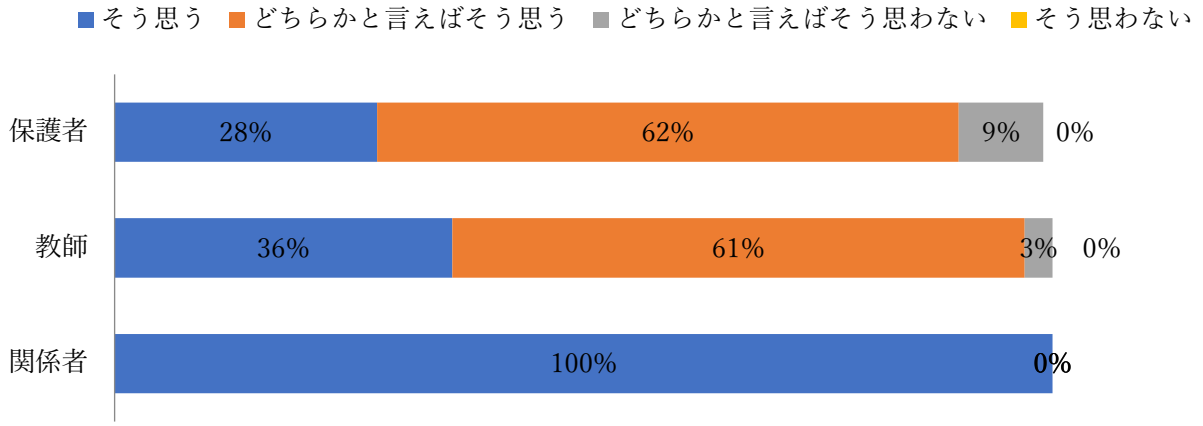
肯定的な回答が９割以上あります。今後も今以上に常に児童の様子を細やかに把握し、適切な励ましや声かけをしてまいります

7．子どもへの安全指導



保護者の方々の旗当番や「出来ることからやろう会」の皆さんのご支援により、児童の安全が担保されていると捉えています。

8．教育環境の整備



肯定的な回答が多かったです。今後も、学校応援団ボランティアの方々や関係機関と連携を図り、環境整備に努めてまいります。

【自由記述に係る今後の対応等について（一部要約)】

①成果として

〇いつもありがとうございます。最近はちょっかいを受ける側に立つことが多いと本人が話していました。お互い様だと思うので、自分が嫌だと思ったらまず意思表示をするよう話しています。友人とのやりとりで悲しかったことだけでなく、楽しかったことも話してくれているので、引き続き、自分の気をつけるところは気をつけて、見守っていきたいと思います。

〇先生の話もよくします。 楽しそうに学校生活を送らせて頂いています。 ありがとうございます。

〇相談しやすくとても親切な先生で安心して任せられます。いつもありがとうございます。

〇整理整頓、早寝早起きについては、親の指導が行き届かず、ご迷惑をおかけしております…。いつもありがとうございます。

〇コロナ禍の中で、工夫しながら子供たちの教育に取り組まれていると思います。

〇 子供の悩み相談についてＰＲするポスターが校内に掲示してあり、子供たちによく周知できていました。

〇 校長賞の取組は素晴らしいことです。これからも続けていただければ幸いです。

〇 お弁当の日や家読など、家庭と連携した企画もあり、さまざまなことを学べるよう考えられていると感じます。慌ただしい毎日のなかで正直なところ負担は感じますが、良い企画だと思っています。

〇 教科担任制でたくさんの先生に教わり関わりをもつことができるのはメリットが多いと思います。厳しさも必要で言い訳が許されない場面もあるかとは思うのですが弁明の機会が無かったり、間違うことが許されなかったりするような雰囲気ではないといいな…と思います。

②課題及び対応について

【教員等の言動について】

△男女差を強調した叱り方が気になります（これだから男子は・女子を見習って…など)。性別によって傾向はあるとは思いますが、性別による決めつけ、性別の優劣をつけることは将来にわたって影響を及ぼすのではないかと懸念します。また「この

子はこういう子だから…」と言う決めつけも同じで、親もやりがちなので気をつけているところです。

△ある先生が自身の子育てを理由にして、クラスの児童への対応を疎かにされたと聞きました。子育てしながら、仕事をする人は沢山います。そんな先生に子供を預けるのは不安です。

＜学校より＞

→「環境が人を育てる」といわれます。子供たちの一番身近な大人は教職員や保護者の皆様です。我々教職員は、子供たちの手本となる大人としての言動を身に付けてこそ、子供たちへ指導できるのだと思います。しかしながら未だ不十分であることは否定できません。今後も研修等をとおして望ましい知識と態度を身に付けて参ります。

【学習指導等について】

△鉛筆、消しゴムの紛失が多い。

△持ち物(工作や行事等で用意するものなど)の連絡事項は、日にちに余裕もって早めにご連絡いただければと思います。間際になって知らされても急には用意できないことが時々あります。

△宿題の出る量が学年×10 分よりだいぶ少ないので、もう少し増やして欲しいです。また、ノートに先生のチェック(印)が一切ありません。 当然確認はして頂いていると思いますが、 宿題の丸つけは、家庭でも時間を割いてやっている事なのでモチベーションが下がります。お忙しいとは思いますが、せめて印くらいは欲しいです。

△家庭での宿題の丸付けですが、恥ずかしながら親でも答えがわからない時があるので大変です。

△タブレットのタッチペンを何回も使わないうちに壊してしまったようです。子供自信で管理するのは難しいので、集めておいてタブレット使用時に配るなどしていただければと思います。

＜学校より＞

→新学習指導要領が完全実施となり、学校と家庭及び地域で共に児童の教育を担う重要性が一層、高まりました。学力（学習への意欲・関心、思考力・判断力・表現力、知識・技能、）の向上も喫緊の課題です。一方で学校行事等の時間と教科等の学習を行う時間

のバランスも非常に難しいです。内牧っ子にどのような力をつけさせることが必要なのかを教職員で検討し、保護者の皆様へ教育活動に対して支援依頼をしてまいりたいと思います。

【教育活動及び学校生活全般について】

△自分中心な傾向があるためお友達とうまくやれているのか心配になります。また、入学時からずっとコロナで密な友達関係ができないため楽しくないと言う時もあります。行事は頑張っています。

△特定の子から〇〇がいるから一緒に遊ばない、殴るぞ、階段から突き落とす等の言葉を言われるようで最近になり毎日こういった内容を子供が話すので学校生活が気になっています。

△思っている事を言えずに我慢していることもあるようです。

△朝寒くて起きたくない。体育の時に体操着になると寒い。鉄棒が苦手。給食の牛乳が冷たくて嫌になる。等の理由からあまり学校が楽しめないようです。それ以外は問題ないようです。

△学校は好きで楽しいと言いますが、辛いこともあるようです。悪ふざけも度が過ぎると思うことがあります。子ども達も立ち回りがうまくなり、下手に大人（学校の指導も親も）が口を出すことも逆効果になり得ますし、褒めること、よくできたことも反感を買い、からかいや攻撃の対象になることもあるようです。本人も大人に知られることを嫌がるため、状況の把握・対応に悩みます。

△1 クラス 40 人は多すぎます。もっと 1 クラスあたり少なくしてほしいです。

△前に子供どうしのトラブルがあったことなど、先生どうしで引き継がれているのか心配です。

＜学校より＞

→お子様の学校生活への不安や悩み等については、学期ごとに教育相談日を設けておりますのでご相談ください。また、教育相談日に限らず、その都度ご連絡いただいてもお話をお伺いしますのでいつでもお気軽にご相談ください。また、本年度も「スクールカウンセラー」が５回来校しました。春日部中学校とも連携し、３学期から月に１回「さわやか相談員さん」も来校しています。

△コロナの中での運動会などの行事について、市単位ではなく各学校の判断で実施しているそうですが、普通に実施する学校もある中で、縮小していることに疑問を持っています。入学式からそうですが、各家庭保護者１名の意味がわかりません。各学校の判断になるのであれば保護者へアンケートを取るべきだと思います。

＜学校より＞

→コロナ禍により、保護者に皆様には、お子様の学校での様子をご覧いただく機会が制限されてしまったことについては深くお詫び申し上げます。諸行事の実施については、新型コロナウイルス感染症拡大防止を第一に考え、実施方法の検討を重ねた結果です。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

△食育に力を入れていることは大変素晴らしいことですが、家庭の事情や子供の食事へのこだわりなどありますので、毎年のお弁当の手作りの強制や限定(おにぎりを海苔なしの塩おにぎりに限定など)はしないで、ある程度自由にしてほしいです。

＜学校より＞

→本校の食育は、産直の里「内牧」に位置する内牧小学校の特色ある教育活動の一つです。おにぎりづくりの練習として、「自分でつくるお弁当の日」を毎年度設定しています。また、「学校・家庭・地域と三者一体となって進める～内牧小のつながる食育～」として推進している中で、各ご家庭には各学年の発達段階に応じたおにぎりづくりにご協力をいただきありがとうございます。今後も、ご理解の上ご協力をお願いします。

△賛同しないわけではないが、スーパー元気(子供のいいところを記入)の活動は期間が長く、行うのが負担だった。できないと記入しようかと悩んだほどだった。

＜学校より＞

→「スーパー元気さわやかキャンペーン」は、児童が明るく仲良く元気に生活できる学校になるよう、学校・家庭・地域が一つとなり、いじめを許さない土壌づくりを図ることをねらいとして、市内全校で取り組むキャンペーンです。また、本校では、毎週日曜日は「子供のよさをほめる日」として、保護者の皆様がお子さんのよいところをたくさん見つけてほめていただけるように毎月の学校だよりでもご協力をお願いしています。

【家庭生活及びPTA・地域とのかかわり】

△帰り道でふざけたりケンカしたりしている内牧小学校の子供がいると話をきくのでしっかり見ていただきたいです。

△外で緊張した時間過ごしているせいか、家では聞く耳を持ちません。

△朝起きるのが苦手で、朝食をほとんど食べずに家を出て行くことが、週に数回あります。

△欠席の連絡を保護者がしていない(無断欠席)時にも、何も対応がないことが２回ほどあり、安否確認、子供の様子の確認について、学校の方針に疑問を持ちました。

△コロナ禍で、生活に困っている子や、様子の変化が見られることはあるのか気になりました。

△登校班の班員が勝手に行動し、非常に迷惑です。

△登下校中の様々な問題を解決してほしいです。

△時短授業で帰宅が早まる情報は、早く、しっかり伝えて下さい。

△旗振り当番の回数が多く感じます。仕事をしている保護者も増えている中で場所にも寄るかと思いますが、毎月一回仕事に遅れていくことになるのは、少々負担に感じます。見守り隊の方もたくさんいていただけていますし、ポイントを減らすなど、検討していただきたいです。

△公民館の駐車場が敷地内のため、一般の方が自由に敷地に入れるようになっているのは最近の不審者のニュースを見るたび不安に思います。

△行事などの写真業者を変えてほしいです。卒業式の写真に他校の卒業式の写真が混ざっていました(写真業者には連絡済、お詫びの連絡きました)。内牧小のコードを入れてしか見られないのに、このような管理体制の会社は不安です。また、一度ページを閉じるとまたログインしなければならい等、サイトも使いづらいです。今の業者は安いですが、多少高くてもいいと思います。

＜学校より＞

→学校は、子どもたちが安心・安全に学べる場でなければなりません。児童の登下校時の安全については、PTA・地域の力を借りながら子どもたちの安心・安全につなげてまいりたいと思います。ぜひ、ご支援・ご協力をお願いいたします。

→いただいたご意見をPTA役員の方々へお伝えし、対応を検討していただくよう依頼して参ります。

【最後に】

本校の教育活動に対して、多大なるご理解・ご協力いただきましてありがとうございます。教職員の指導に対する励ましのお言葉や学校行事への取組を高く評価頂きましたこと、教職員一同感謝申し上げます。また、一方でご指摘いただいたご意見をもとに、今後もこれまでの取組をさらに精査し、子どもの笑顔と活力あふれる学校づくりを目ざし、教職員一人一人の資質能力の向上に努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。